

第  
63  
回

# 全国植樹祭 やまぐち 2012

育むいのち 彩りの森・光る海・碧い空 きら 燦めきの発進

## 実施計画

【概要版】



山口県



# INDEX

## 第1章 開催概要

1.開催方針	1
2.開催理念	1
3.開催テーマ	2
4.シンボルマーク	3
5.大会ポスター原画	3
6.開催日	4
7.主催	4
8.開催会場	4
9.開催規模	6
10.東日本大震災復興支援	7
11.開催地概要	8

## 第2章 式典行事計画

1.基本的な考え方	9
2.式典演出計画	11
3.式典進行計画	14

## 第3章 植樹行事計画

1.基本的な考え方	15
2.お手植え・お手播き計画	16
3.代表者記念植樹計画	18
4.参加者記念植樹計画	18

## 第4章 関連イベント計画〈きららの森フェスタ〉

1.基本的な考え方	20
2.イベント運営	20

## 第5章 会場整備計画

1.基本的な考え方	21
2.施設配置計画	21
3.主要施設計画	24
4.サイン計画	25
5.電気・給排水・通信設備計画	25
6.飾花計画	25



## 第6章 運営計画

1.基本的な考え方	26
2.実施本部計画	26
3.招待計画	27
4.参加者行動計画	28
5.会場内動線計画	29
6.招待者受付計画	30
7.作品御覧・レセプション計画	31
8.昼食計画(式典参加者)	31
9.医療・衛生計画	32
10.消防・防災、警備計画	32

## 第7章 宿泊・輸送等計画

1.基本的な考え方	33
2.宿泊計画	33
3.輸送計画	33
4.視察計画	35

## 第8章 荒天時式典計画

1.基本的な考え方	36
2.荒天会場	36
3.参加者一覧	36
4.荒天時運営計画	37

## 第9章 県民参加・集客計画

1.基本的な考え方	38
2.県民参加の進め方	38
3.集客の進め方	38

## 第10章 プレイベント事業等計画

1.基本的な考え方	39
2.プレイベント事業の内容	39
3.記念事業の内容	39
4.関連事業の内容	39

## 第11章 広報計画

1.基本的な考え方	40
2.広報展開	40

# 第1章 開催概要

## 1. 開催方針

### (1)はじめに

平成24年5月27日に山口県で、「第63回全国植樹祭」を開催します。山口県での開催は、昭和31年4月7日、防府市矢筈山で天皇皇后両陛下をお迎えして行われた第7回大会以来、56年ぶり2回目となります。

全国植樹祭（第20回大会までは「植樹行事ならびに国土緑化大会」、第21回大会からは現行の「全国植樹祭」が正式名称。）は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるため、毎年春季に公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により行う国土緑化運動の中心的行事です。

昭和25年に山梨県で第1回大会が開催されて以降、各都道府県で持ち回り方式で開催され、これまでこの大会では、天皇皇后両陛下にご臨席を賜り、全国から多くの参加者にお集まりいただき、式典行事や記念植樹などが行われています。

### (2)開催意義

本県では平成16年3月、「やまぐち森林づくりビジョン」を公表し、基本理念である「未来へ引き継ぐ、みんなで育む豊かな森林」に基づき、百年先のやまぐちの森林の姿を見据え、県民との協働による健全で豊かな森林づくりを進めています。

平成24年に開催する全国植樹祭は、本県の森林づくりや緑化活動の取り組みを全国に発信する絶好の機会として、また、県民参加によるみどり豊かな県づくりを進める契機として期待されます。

## 2. 開催理念

山口県は、県土の7割を超える森林が県民のくらしや産業を支え、四季折々の変化に富む美しい景観を生み出すとともに、中国山地の西端に位置する森林を源とする清らかな河川や三方が海に開かれた地形が多様な動植物を育み、全国に誇る豊かな自然環境を有する地域です。

近年、二酸化炭素の吸収源としての機能や県土の保全など森林の持つ多面的な機能に対する期待は一段と大きくなっていますが、森林を守り育ててきた農山村地域の過疎化や高齢化、林業の担い手の減少、木材価格の長期低迷などを背景に、本県においても荒廃する人工林が増加するとともに、全国第3位の面積を有する竹林の繁茂、松くい虫などに起因する海岸林の荒廃など、県民のくらしと産業を支える森林の再生が重要な課題となっています。

このため、本県においては、平成16年3月に、「未来へ引き継ぐ、みんなで育む豊かな森林」を基本理念とした「やまぐち森林づくりビジョン」を公表し、百年先のやまぐちの森林の姿を見据え、みどり豊かな森林を県民共有の財産として守り育てていくための取り組みを進めています。

荒廃した人工林の再生などに取り組むための独自の税制度である「やまぐち森林づくり県民税」の導入や、森林バイオマスのエネルギーの活用など全国に先駆けた取り組みや、循環型資源である木材の積極的な利用、森や川、海に関わる人々が連携した県民による森林づくり活動、森林セラピーなど県民との協働による健全で豊かな森林づくりを進めています。



また、平成23年開催の国民体育大会を通じた花いっぱい運動や都市公園の整備など身近な生活環境での緑化も推進しています。

このような取り組みを今後さらに進めるためには、森林をはじめとした緑化に対して県民の理解や関心を高めていくとともに、県民が様々なかたちで森林にふれ合い、豊かな森林づくりに参加できる取り組みを進めていくことが必要です。

「第63回全国植樹祭」は、多様な恵みやいのちを育む豊かな森林、みどり豊かな生活環境を次世代に引き継ぐため、県民参加による森林づくりや緑化活動への気運の醸成と参加の機会を拡大し、本県の森林づくりや緑化活動の新たな展開につなげる契機にするとともに、本県独自の森林づくりの取り組みや、三方が海に開かれた県土の特性を活かした海・川・森林のつながり、海岸林の創生など新たな取り組みを県内外へ発信し、わが国の新たな森林づくりや緑化活動に資する機会にしたいと考えています。

### 3. 開催テーマ

# 育むいのち

彩りの森・光る海・碧い空 きら 燦めきの発進

山口県は、自然や産業、技術、文化、伝統、地域社会など人類を取り巻く営みの全てをかけがえのない「いのち」と捉え、21世紀は「いのち」について深く問い直すべき時代であると位置づけ、新しい世紀のはじまる2001年に、「いのち きら 燦めく未来へ」をテーマに「山口きらら博」を開催しました。

人や自然、産業、地域のあり方を「いのち」の視点から提示する博覧会の開催によって、新しい時代の新しい県づくりをスタートした山口県から、第63回全国植樹祭を通じて、「いのち」をキーワードとして地球環境に果たす森林や緑化の新しい展開を発信したいと考えています。

ひとつひとつの木々は水源のかん養や防災、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収、海や川に豊かな水を注ぎ人々や生き物のいのちを支え、四季折々を彩り美しい景観を織りなすなど、様々な役割を果たしています。その源の木々も海や川から恵まれる雨によって成長するいのちです。私たちのくらしや産業は「いのちの連環」によって支えられています。環境の時代を迎えた今、私たちは「いのちの連環」をさらに豊かにし、ひとつひとつの「いのち」が きら 燦めく豊かな環境を次世代に引き継ぐことが求められています。県民、国民参加の下に進められる森林づくりや緑化活動は、豊かな「いのち」を育む取り組み。山口県はこの取り組みをさらに発展させるために、「育むいのち」をテーマに全国植樹祭を開催します。

全国植樹祭の会場・きらら浜は第二次世界大戦後の食糧増産に対応するために造られた干拓地、海から生まれた大地です。今、この大地は役割を変え、海と川に接し、私たちのくらしや産業を支える森林や川、海、空が体感できる大地として生まれ変わろうとしています。緑化や植栽などの課題も抱えるこの土地を豊かな大地に育てる取り組みにより、日本海、瀬戸内海、響灘の三方を海に開かれた山口県から、快適な生活環境を形成する上で不可欠な緑化を進める新しい提案ができると考えています。

2012年春。海から生まれた大地を舞台に、新しい時代の快適な環境づくりを進める取り組みとして、「育むいのち」をテーマに、森林づくりや緑化活動の新たな展開を県内外にアピールします。

## 4. シンボルマーク

●全国から公募により選定しました。



### シンボルマーク

「山」と「口」をモチーフとして、「いのち（双葉）」を大切に育てている様子をイメージしています。

**高見澤 アカネ(たかみざわ あかね)さん**  
(埼玉県)

### 愛称 「やまりん」

山口県の「やま」と林の「りん」で、親しみやすさを表現しています。

**小谷 祐紀(こたに ゆうき)さん**  
(宇部市立神原小学校6年)

※平成22年現在

## 5. 大会ポスター原画

●山口県内の小・中・高校生からの公募により選定しました。



### 画題 「新しい命」

木の芽が出て、新しい命に感謝し、植物を大切にするという気持ちを表現しています。

**中野 早紀(なかの さき)さん**  
(山口市立阿知須中学校3年)

※平成22年現在

## 6. 開催日

- 平成24年5月27日（日曜日）

## 7. 主催

- 公益社団法人国土緑化推進機構、山口県

## 8. 開催会場

- 会場は、山口市阿知須・きらら浜。各会場は以下のとおり。
  - ・式典会場 / 山口きらら博記念公園 スポーツ広場
  - ・植樹会場 / きらら浜北エリア（隣接してイベント広場「きららの森フェスタ会場」設置）
  - ・荒天会場 / 山口きらら博記念公園 多目的ドーム

### 《参考：会場地・きらら浜の概要》

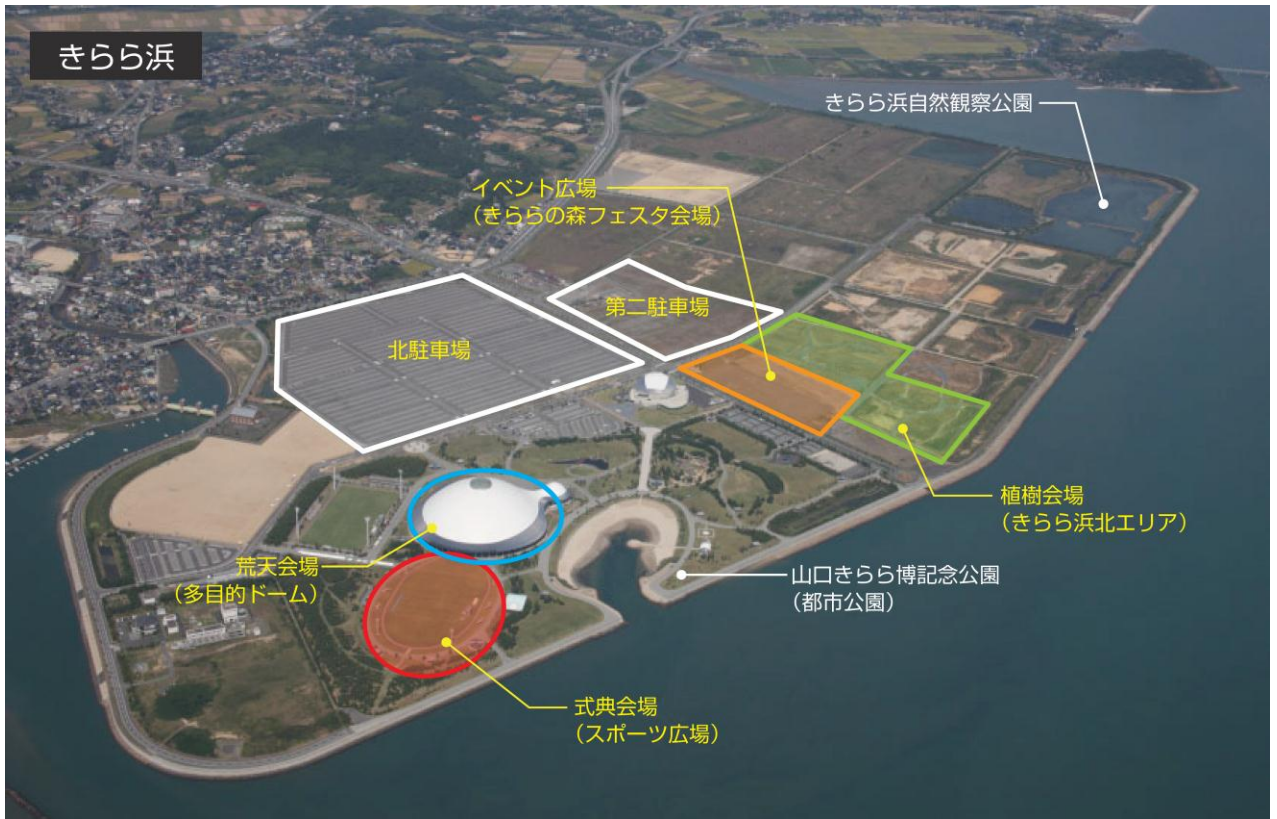
「きらら浜」の総面積は286ヘクタール。戦後、食糧増産を目的とした国の干拓事業により、「阿知須干拓地」として造成されました。その後の食糧事情の変化により、農地として使われることなく、昭和63年に国から県が払い下げを受けた後、埋め立てなどの造成工事が行われています。

「きらら浜」においては、平成13年に北エリアの一部が「きらら浜自然観察公園」として整備され、多くの野鳥が訪れる場所となっています。また、南エリアでは「いのち 燦めく未来へ」をテーマとして、「ジャパンエキスポ・山口きらら博」が開催され、79日間の会期で目標入場者数2百万人を大きく越える251万人の来場者があり、同時期に開催された博覧会の中で最も大きな成功となりました。翌年には、その会場が「山口きらら博記念公園」としてオープンし、平成23年に開催された「おいでませ！山口国体」では、サッカーや水泳などの競技が実施されました。

また、「きらら浜」全体でボーイスカウトの全国大会と世界大会の開催が予定され、平成25年に日本ジャンボリー、同27年に世界スカウトジャンボリーの会場となります。

「きらら浜」は県央部に位置し、山口宇部空港、山陽新幹線新山口駅、山陽自動車道及び中国縦貫自動車道のインターチェンジに近接し、これら交通拠点からの直結道路も整備され、県内外からの交通アクセスに恵まれています。また、駐車場や荒天時の会場も既存施設を利用することができます。





《式典会場》



- 【スポーツ広場】（写真手前側）
- スポーツ、屋外イベントなど様々な交流が生まれる多目的広場
  - 芝生広場で面積は約2畝

- 【多目的ドーム】（写真奥側）
- 県内初のドーム型屋内運動場でスポーツやイベントなど多目的に利用が可能
  - フィールドは人工芝で面積は約1.5畝

《植樹会場・イベント広場》



- 【きらら浜北エリア】  
（山口きらら博記念公園からの展望）
- 北エリア全体の面積は約171畝（うち自然観察公園（30畝）、道の駅きらら（1.7畝）は供用）
  - 植樹会場は約10畝で、植樹会場を含む海岸に近いエリアー帯は、将来都市公園として整備・活用を予定

## 9. 開催規模

### (1)参加者数

- 式典行事の参加者数は、約10,000人とします。
- 植樹行事は式典参加者のほか、1万人以上の自由植樹参加者の来場を得て、総計で2万人を超える規模とします。
- 会場特性を活かして、開催日を含む4日間の「自由植樹の期間」を設定し、来場者が自由に植樹活動に参加できるようにするとともに、併せて関連イベント「きららの森フェスタ」を実施することにより、子どもから大人、高齢者、障害者、各種ボランティアなど、多くの県民が参加できるようにします。

参加区分		参加予定者数	備考
式典行事 ・ 植樹行事	県外招待者	1,500人	国関係者、被表彰者、 他県招待者等
	県内招待者	8,500人	県議会議員、市町関係者、 緑化団体関係者、公募招待者、 県実行委員会委員等
小計		10,000人	
自由植樹参加者		10,000人	自由参加（式典参加者を除く）
本部員・協力員		3,000人	実施本部員、出演者、 運営ボランティア等
総計		23,000人	

### (2)開催期間

- 全国植樹祭の式典及び植樹の本体行事は、1日間の開催とします。
- 連携行事として、全国植樹祭開催日の3日前から、「自由植樹の期間」を設定し、植樹会場において、県内外の方が自由に植樹活動に参加できるようにします。
- 多くの来場者が参加・体験し、楽しんでいただけるよう、植樹会場に隣接してイベント広場を設置し、県民参加型の展示や催事、物販や飲食等の関連イベント「きららの森フェスタ」を全国植樹祭前日・当日の2日間にわたって開催します。

区分	会場等	連携行事期間			全国植樹祭
		5月24日(木)	5月25日(金)	5月26日(土)	5月27日(日)
本体行事	式典会場 (スポーツ広場)				式典行事
					植樹行事
連携行事	植樹会場 (北エリア)	植樹会場における自由植樹			
					【関連イベント「きららの森フェスタ」の開催】 ・県民参加型の展示と催事 ・物販、飲食の充実による来場者への対応
	全国林業後継者大会 (山口市)			大会	

## 10. 東日本大震災復興支援

第63回全国植樹祭の開催を通じて、東日本大震災の復興支援を行います。

### (1)「復興の森」の設置

- 東日本大震災被災地の早期復興を願って、植樹会場内に「復興の森」を設け、東北3県（岩手県、宮城県、福島県）を始めとする県内外からの招待者に植樹していただきます。
- 植樹する樹種は、クロマツ、タブノキ、ヤブツバキなど、東北地方の海岸部に生育する代表的な樹種とし、山口県で生産した樹木とします。

### (2)緑化樹木の贈呈

- 東日本大震災の津波で流失した海岸林の早期再生を支援するため、東北3県（岩手県、宮城県、福島県）に山口県で生産した緑化樹木を贈呈します。
- 緑化樹木の樹種は、抵抗性クロマツ（きららマツ）など海岸林を代表する樹種とします。

### (3)復興支援ブースの設置

- 関連イベント「きららの森フェスタ」において、東日本大震災義援金の受付や東北地方の物産販売等を行う復興支援ブースを設置します。

### (4)「やまりん」ピンバッジ募金の活用

- 被災地の緑化事業を支援するため、財団法人やまぐち農林振興公社の協力を得て、第63回全国植樹祭シンボルマーク「やまりん」のピンバッジによる緑の募金の一部を東北3県（岩手県、宮城県、福島県）に贈呈します。
- ・「やまりん」ピンバッジ  
緑の募金200円につき、ピンバッジ1個を進呈





11. 開催地概要

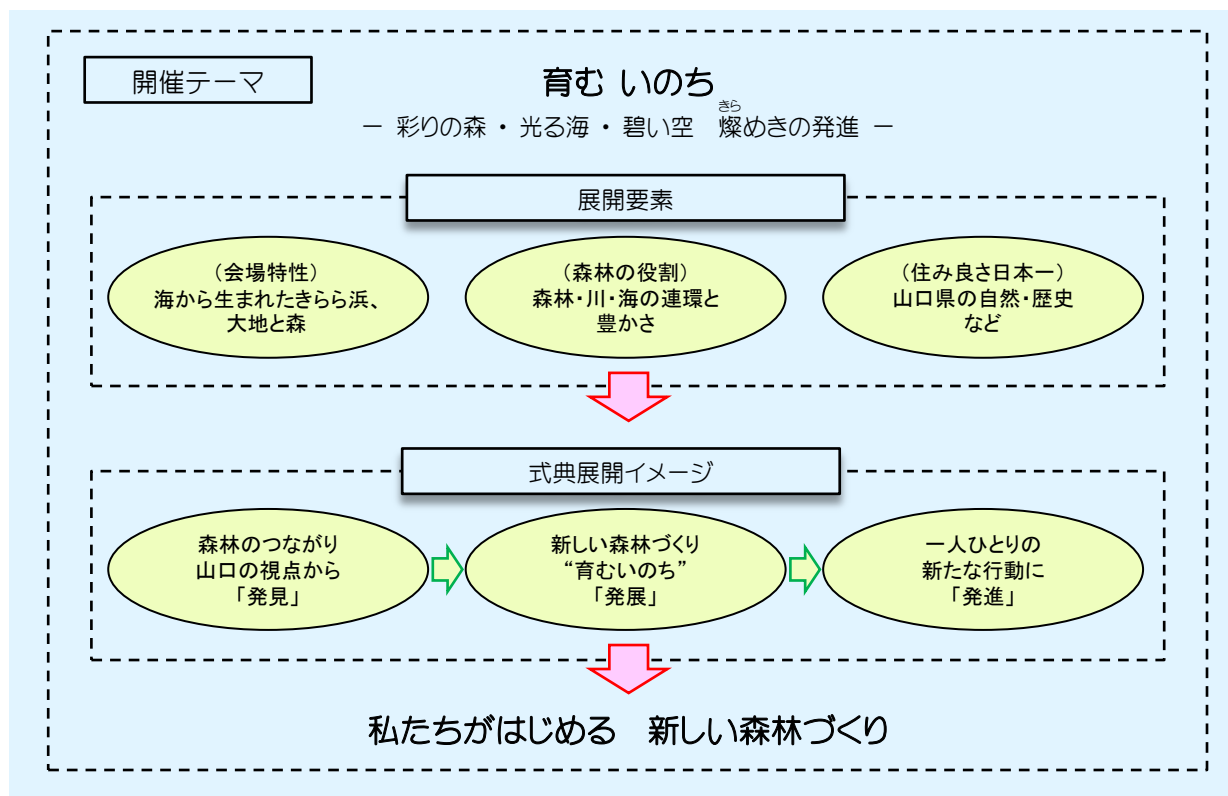


# 第2章 式典行事計画

## 1. 基本的な考え方

- 開催テーマ「育む いのち 彩りの森・光る海・碧い空 燦めきの発進」を体感し、理解し、一人ひとりの具体的な行動につなげることで、山口県から新たな森林づくりや緑化活動を発信するとともに、山口県の自然や歴史などから生み出される豊かな生活環境、「住み良さ日本一」を目指す山口県の県づくりをアピールします。
- 海から生まれた「きらら浜」の会場特性を活かし、森林・川・海のつながりを体感し、海の豊かさと、それを生み出す森林の大切さを全国にアピールするとともに、海岸部における豊かな森林づくりを進める契機とします。
- 式典は、世代を超えて多くの方に参加していただくとともに、おもてなしの心を発揮して、山口県のよさを実感していただける運営とします。また、参加者の安全確保に努めるとともに、式典の出演者については県内の各団体等の協力と参加を得て編成します。

### (1)演出イメージ



## (2)式典構成

●式典は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成とします。

区分	プログラム	内容
開会前	招待者入場 プロローグ案内、インフォメーション	<p>○あたたかいおもてなしの心で参加者をお迎えするとともに、参加者席までのスムーズな誘導を行いません。</p> <p>○場内アナウンス、BGM、大画面映像等により山口県の魅力を全国に発信します。</p> <p>○参加者に必要なサービスを提供するとともに、住み良さ日本一の県づくりを進める山口県の取り組みや森林づくりを全国的にアピールする内容にします。</p>
プロローグ	<p>プロローグアトラクション ～森林のつながり“山口の視点”から「発見」～</p> <p>感謝状の贈呈</p> <p>緑化樹木の贈呈（東日本大震災復興支援）</p> <p>記念切手の贈呈</p> <p>記念式典案内</p>	<p>○第63回全国植樹祭開催にあたり、公募されたシンボルマーク等の各種優秀作品等への感謝状を贈呈します。</p> <p>○東日本大震災の津波で流失した海岸線の早期再生を支援するため、東北3県（岩手県、宮城県、福島県）に山口県で生産した緑化樹木を贈呈します。</p> <p>○郵便事業株式会社から山口県知事に本大会を記念して「ふるさと切手」が贈呈されます。</p>
記念式典	<p>天皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席</p> <p>開会のことば</p> <p>三旗掲揚・国歌斉唱</p> <p>主催者あいさつ</p> <p>表彰</p> <p>苗木の贈呈</p> <p>天皇后両陛下 お手植え・お手播き</p> <p>代表者記念植樹</p> <p>開催テーマ表現 ～新しい森林づくり“育むいのち”「発展」～</p> <p>大会宣言</p> <p>リレーセレモニー</p> <p>閉会のことば</p> <p>天皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発</p>	<p>○厳粛でかつきらら浜の会場特性を活かした演出とします。</p> <p>○参加者が見て聞いて、山口らしさを感じ、気付いてもらえるよう工夫します。</p> <p>○「育むいのち」をテーマとしたアトラクションを実施します。</p> <p>○式典が滞滞なく進行するように司会者台本、音楽、介添え者、式典アシスタントの動作等を設定します。</p> <p>○式典進行に関わるスタッフの人員数、作業動作、説明、備品の出し入れ等を適正かつ確かなものとします。</p>
エピローグ	<p>エピローグ案内</p> <p>エピローグアトラクション ～一人ひとりの新たな行動 “山口・きらら浜”から「発進」～</p>	<p>○山口からはじまる「新しい森林づくり」を全国に発信します。</p>
閉会后	招待者退場	



## 2. 式典演出計画

### プロローグ

〈演出テーマ〉 ～森林のつながり “山口の視点” から「発見」～

海に近接し、森・川・海が体感できる会場特性を活かし、  
森・川・海のつながりを表現します。

### バンブーオーケストラ演奏 ～音で感じる山口の森・川・海～

山口の里山文化の象徴である、  
県民楽団やまぐちバンブーオー  
ケストラによる竹楽器演奏を行  
います。



### 創作ダンスパフォーマンス ～森・川・海のシンフォニー～

森・川・海のつながりを独創的  
なダンスパフォーマンスで表現し  
ます。



## 記念式典

〈演出テーマ〉 ～新しい森林づくり“育む いのち”「発展」～

森林が様々な「いのち」を育てており、森林づくりは私たちに関わりの深い大切な「自分ごと」であることを表現します。

天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、国土緑化功労者等の各種表彰、大会宣言等を行います。



天皇陛下のお手植え



皇后陛下のお手播き

## メインアトラクション

森・川・海に生きる“いきもの”と人間の子どもたちによるパフォーマンスで開催テーマ“育む いのち”を表現します。





## エピローグ

〈演出テーマ〉 ～一人ひとりの新たな行動“山口・きらら浜”から「発進」～

参加者一人ひとりが森林づくりの意味を再発見し、具体的な行動につながるメッセージを発信します。

### エピローグアトラクション ～未来へ届けきらめきの発進～

出演者、招待者が全員参加できる音楽と演出で会場全体の雰囲気盛り上げ、華やかに式典行事のフィナーレを迎えます。





## 3. 式典進行計画

## ●進行スケジュール

時間	プログラム	登壇者・出演者	映像	音楽
8:30 ～ 10:00	招待者入場開始 招待者着席完了			BGM (CD)
【プロローグ】 ～森林のつながり“山口の視点”から「発見」～				
10:18 ～ 11:00	アトラクション ～森林のつながり“山口の視点”から「発見」～	緑の少年隊、ダンススタジオ他	演出映像 LIVE映像	アトラクション音楽 ①バンブーオーケストラ ②BGM (CD)
	大会概要紹介	司会者	演出映像	BGM (CD)
	感謝状の贈呈 ○大会シンボルマーク ○シンボルマーク愛称 ○大会ポスター原画	贈呈：山口県知事 受贈：各被表彰者	LIVE映像 受賞作品等紹介映像	BGM (吹奏楽)
	緑化樹木の贈呈 (東日本大震災復興支援)	贈呈：山口県知事 受贈：東北3県 (岩手県、宮城県、福島県) 各代表者	LIVE映像	BGM (CD)
	記念切手の贈呈	贈呈：郵便事業(株)代表取締役社長 受贈：山口県知事	LIVE映像 記念切手紹介映像	BGM (吹奏楽、合唱)
	記念式典案内	司会者	テロップ等	BGM (CD)
【記念式典】 ～新しい森林づくり“育むいのち”「発展」～				
11:00 ～ 11:53	天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席	御先導：山口県知事 お出迎え：大会会長 (衆議院議長) (公社)国土緑化推進機構理事長	LIVE映像	ファンファーレ (吹奏楽) BGM (吹奏楽、合唱)
	開会のことば	(公社)国土緑化推進機構副理事長	LIVE映像	ファンファーレ (吹奏楽)
	三旗掲揚・国歌斉唱	緑の少年隊、ボーイスカウト、ガールスカウト	LIVE映像	君が代 (吹奏楽、斉唱)
	主催者あいさつ	大会会長、山口県知事	LIVE映像	—
	表彰 ○国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール ○緑化功労 ○全日本学校関係緑化コンクール ○山口県緑化功労他	大会会長 農林水産大臣 文部科学大臣 山口県知事 受賞者代表	LIVE映像	BGM (吹奏楽、合唱)
	苗木の贈呈	贈呈：緑の少年隊 受贈：農林水産大臣、環境大臣	LIVE映像	BGM (吹奏楽、合唱)
	天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ○お手植え (各3種) ○お手播き (各2種) 代表者記念植樹	御先導：(公社)国土緑化推進機構理事長 山口県知事 介添え：緑の少年隊 記念植樹：県内外特別招待者	LIVE映像 お手植え・お手播き樹 種紹介映像	BGM (バンブーオーケストラ)
	開催テーマ表現 (アトラクション) ～新しい森林づくり“育むいのち”「発展」～	緑の少年隊、ダンススタジオ他	LIVE映像 演出映像	アトラクション音楽
	大会宣言	(公社)国土緑化推進機構理事長	LIVE映像	ファンファーレ (吹奏楽)
	リレーセレモニー	山口県知事、鳥取県知事 介添え：緑の少年隊	LIVE映像 鳥取県PR映像	CD (鳥取県制作)
開会のことば	山口県議会議長	LIVE映像	ファンファーレ (吹奏楽)	
天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発	御先導：山口県知事 お見送り：大会会長 (公社)国土緑化推進機構理事長	LIVE映像	BGM (バンブーオーケストラ)	
【エピローグ】 ～一人ひとりの新たな行動“山口・きらら浜”から「発進」～				
11:53 ～ 12:20	エピローグ案内	司会者	テロップ等	BGM (CD)
	アトラクション ～一人ひとりの新たな行動 “山口・きらら浜”から「発進」～	出演者全員	演出映像 LIVE映像	アトラクション音楽 ①和太鼓 ②バンブーオーケストラ ③吹奏楽、合唱

# 第3章 植樹行事計画

## 1. 基本的な考え方

- 植樹行事の実施にあたっては、本県の自然条件や海浜部の会場特性にあった在来の樹種、県民に親しみのある樹種を選定し、彩りのある海岸林の創生など地域特性に応じた森林づくりを目指します。
- 式典会場内にお手植え所、お手播き所、代表者記念植樹地を設けます。
- 参加者（代表者以外）の記念植樹は、「きらら浜北エリア」の植樹会場で行います。
- 県民参加による森林づくりや緑化活動の拡大につなげていくため、多くの方が植樹活動に参加できる「自由植樹の期間」を設けます。
- 植樹用の苗木は、基本的に県内で採取した種子から育成した苗木を使用します。また、「みどりのホームステイ※」により、県民自らの手で育てた苗木も使用します。

※「みどりのホームステイ」：全国植樹祭で植樹する苗木を、家庭や学校、事業所等で育ていただき、植樹会場へ植樹するもの。







### ● 記念植樹内容一覧

会場	位置	内容		面積 (ha)	本数等
式典会場	お手植え所	お手植え	天皇皇后両陛下	-	6本
	お手播き所	お手播き			4種
	中央・県外特別招待者席前	代表者記念植樹	招待者の代表	-	40本程度 (40人程度)
	県内特別招待者席前				
植樹会場	きらら浜北エリア 植樹会場	参加者記念植樹		10	20,000本 (20,000人)

2. お手植え・お手播き計画


(1) お手植え

- 天皇皇后両陛下のお手植えは、お手植え所で、「森」の字をかたどり、それぞれ3本の植樹とします。
- お手植えの苗木は、本県の歴史や文化、日常生活との関わりが特に深く、海浜部の会場特性を考慮した樹種とします。
- お手植えされた樹木は、会場内で県民の森林づくり活動のシンボルとして大切に管理、育成していきます。

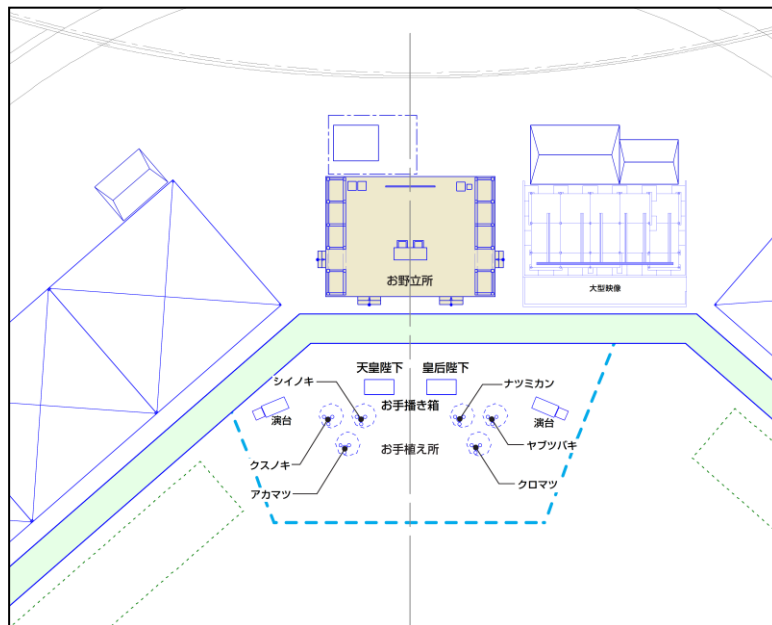
<p>天皇陛下 お手植え樹種</p>	 <p>アカマツ (抵抗性マツ)</p>	 <p>クスノキ</p>	 <p>シイノキ (スダジイ)</p>
<p>皇后陛下 お手植え樹種</p>	 <p>クロマツ (抵抗性マツ)</p>	 <p>ヤブツバキ</p>	 <p>ナツミカン</p>

(2)お手播き

- 天皇皇后両陛下のお手播きは、お手播き所で、お手播き箱へそれぞれ2種類の播種とします。
- お手播きの種子は、本県の自然条件に合ったもので、お手植えと同様の観点から選定します。
- お手播きされた種子は、県が管理育成して苗木に仕立てた後、県内の公共施設等に記念樹として配布します。

<p>天皇陛下 お手播き樹種</p>	 <p>ヒノキ</p>	 <p>イチイガシ</p>
<p>皇后陛下 お手播き樹種</p>	 <p>スギ (少花粉スギ)</p>	 <p>イロハモミジ</p>

お手植え所・お手播き所配置図



### 3. 代表者記念植樹計画

- 代表者記念植樹は、式典会場内に設けた植樹地で行います。
- 天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に、代表者がそれぞれ1本の植樹を行います。
- 代表者記念植樹の樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。
- 参加者の代表は、中央特別招待者、県内外の特別招待者の中から40人程度とします。

### 4. 参加者記念植樹計画

- 参加者記念植樹は、「きらら浜北エリア」の植樹会場で、一人1本以上の記念植樹を行います。
- 参加者記念植樹の樹種は、海浜部の会場特性を考慮して、耐潮性のある樹種や県民に親しみのある樹種、四季の彩りを感じられる樹種とします。
- 都道府県の木や県内の市町の木、椿や桜など四季の彩りや親しみを感じられる記念樹の植樹など、県内外の参加者が将来、会場地を再び訪れたいくなるような多様な植樹を行います。
- 参加者記念植樹の苗木は、「みどりのホームステイ」など県民自らの手で育てた苗木も使用します。
- 参加者記念植樹は、植樹祭当日を含む4日間の「自由植樹の期間」を設け、式典参加者以外の方も自由に参加できるものとします。また、平地である会場特性も活かして、子どもから大人、障害者や高齢者など多くの県民が気軽に参加できる構成とします。
- 東日本大震災被災地の早期復興を願って、植樹会場内に「復興の森」を設け、東北3県（岩手県、宮城県、福島県）を始めとする県内外からの招待者に植樹していただきます。
- 植樹会場は、全国植樹祭開催後、公園として整備し、適正に維持管理します。

#### (1)参加者記念植樹の樹種(35種)

※ 樹種は50音順に記載。

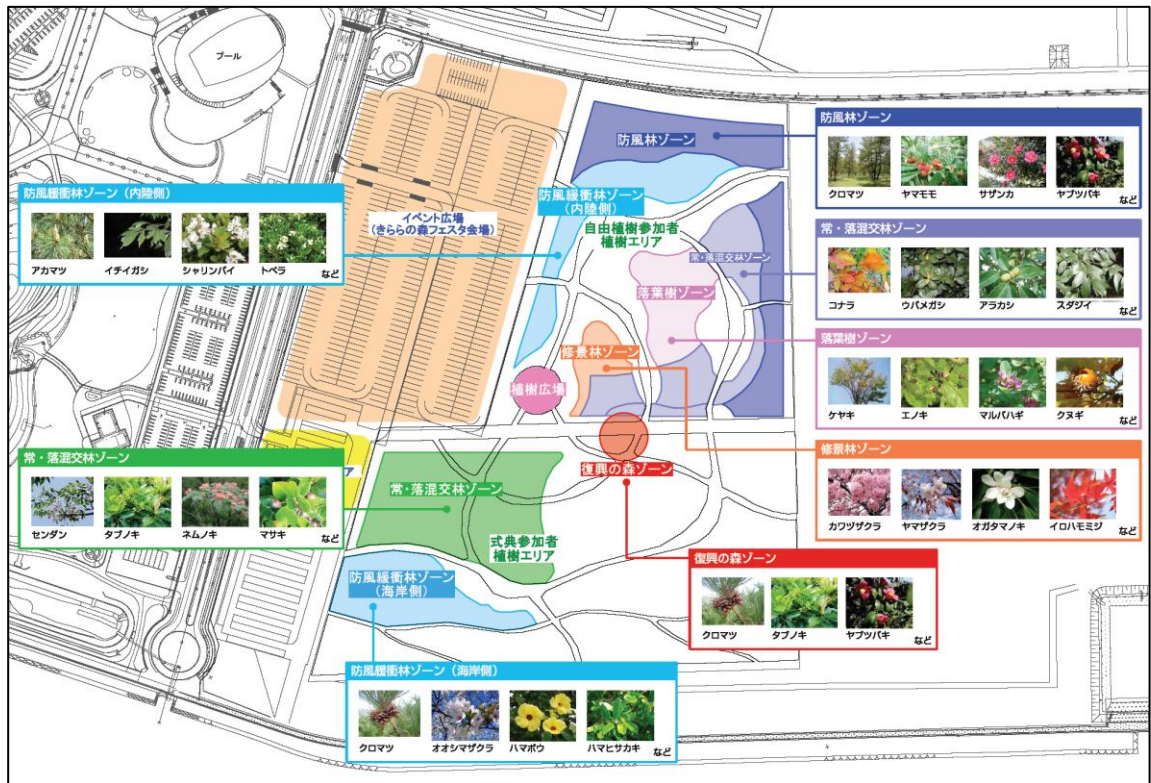
区分	針・広別	樹種名
高木	常緑針葉樹	アカマツ、クロマツ
	常緑広葉樹	アラカシ、イチイガシ、ウバメガシ、オガタマノキ クスノキ、クロガネモチ、シイノキ（スダジイ） タブノキ、マテバシイ、ヤマモモ、ヤブツバキ
	落葉広葉樹	イロハモミジ、エノキ、クヌギ、ケヤキ、コナラ センダン、ネムノキ、ムクノキ
中低木	常緑広葉樹	シャリンバイ、トベラ、ナツミカン、ハマヒサカキ、マサキ
	落葉広葉樹	ハマボウ、マルバハギ、ヤマアジサイ、ヤマハゼ
彩りの木	常緑・落葉 広葉樹	オオシマザクラ、カワツサクラ、クチナシ、 サザンカ、ヤマザクラ



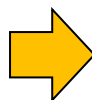
(2)参加者記念植樹スケジュール

区分		グループ	植樹概要
式典参加者	県外招待者	午前植樹	バスで宿泊施設から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、バスで入場ゲートに向かう。
	県内招待者	午後植樹	式典終了後、徒歩で植樹会場へ移動し、植樹を行う。
自由植樹参加者		自由参加	当日、植樹会場で受付後、植樹を行う。

(3)植樹エリア配置図



【植樹イメージ図】



【将来イメージ図】



# 第4章 関連イベント計画 <きららの森フェスタ>

## 1. 基本的な考え方

- 式典参加者や一般参加者が、安心して快適に過ごせるよう、イベント広場を、植樹会場に隣接して設置します。
- イベント広場では、より多くの方が参加し、楽しめるよう、全国植樹祭前日・当日の2日間にわたって、関連イベント「きららの森フェスタ」を実施します。
- 式典や植樹行事に加え、関連イベント「きららの森フェスタ」の開催を通じて、本県の県民税事業など全国に先駆けた森林づくりの取り組みなどを発信するとともに、ボランティア団体をはじめ多くの方に参加していただき、県民参加による森林づくりや緑化活動の新たな展開につなげていきます。

## 2. イベント運営

(1) 場所 きらら浜北エリア（植樹会場に隣接してイベント広場を設置）

(2) 開催期間 2日間（全国植樹祭前日・当日）

(3) 参加者規模 2万人以上

### (4) 運営方針

- ① 本県の森林づくりの取り組みや観光地、県産品等を広くPRするため、各種の展示や販売コーナー等を関係団体の協力により設置し、運営します。
- ② 総合案内所、救護所などを設け、きららの森フェスタへの来場者の安心・安全に十分配慮したサービスを提供します。
- ③ きららの森フェスタの運営にあたっては、出展者等の協力により廃棄物の減量化に取り組むなど、環境配慮型イベントとして開催します。

### (5) 実施内容

ゾーニング	内容
・森のパビリオン	山口県の森林づくりの取り組みや本県の特色ある竹製品等を紹介、PR
・県民参加ゾーン	竹細工、木工、伝統的な民芸品等の製作体験など
・森の遊びゾーン	間伐材の遊具コーナーや森の生き物とのふれあい体験など
・森のレストラン	県産農林水産物を使用した料理、飲み物の販売
・物販ゾーン	県産農林水産物、加工品、物産品、お土産品等の販売

※東日本大震災復興支援ブースも設置。（義援金受付、東北地方の物産販売等）

# 第5章 会場整備計画

## 1. 基本的な考え方

### (1) 式典会場

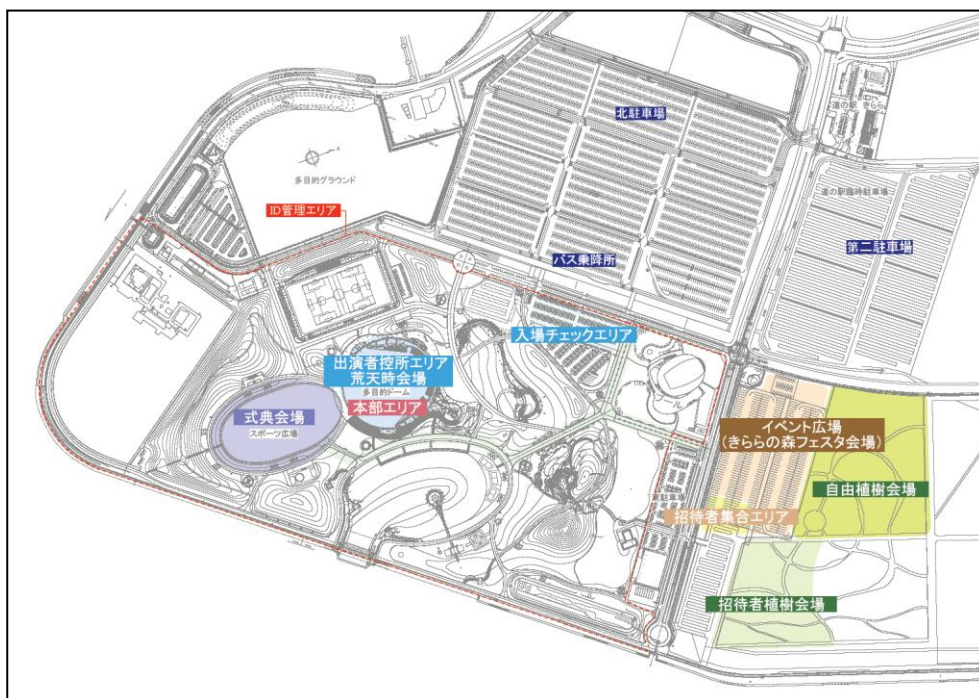
- 会場の設営にあたっては、安全性、快適性、機能性、経済性に留意するとともに、障害者や高齢者にも配慮します。
- 既存施設を有効に利用し、簡素化を図ります。
- 仮施設の整備は、県産木材の使用を基本とします。

### (2) 植樹会場

- 海浜部の会場特性を踏まえ、植生に適した土壌改良や防風対策として海岸隣接地に防風林を整備します。
- 会場内に緩やかな起伏を持たせ、海が見える小径を設置するなど、来場者が魅力を感じる会場整備を行います。
- 全国植樹祭開催後の公園利用を想定した、植樹スペースや園路を設置します。
- 安全性や経済性、周辺の景観との調和、ユニバーサルデザインに配慮します。

## 2. 施設配置計画

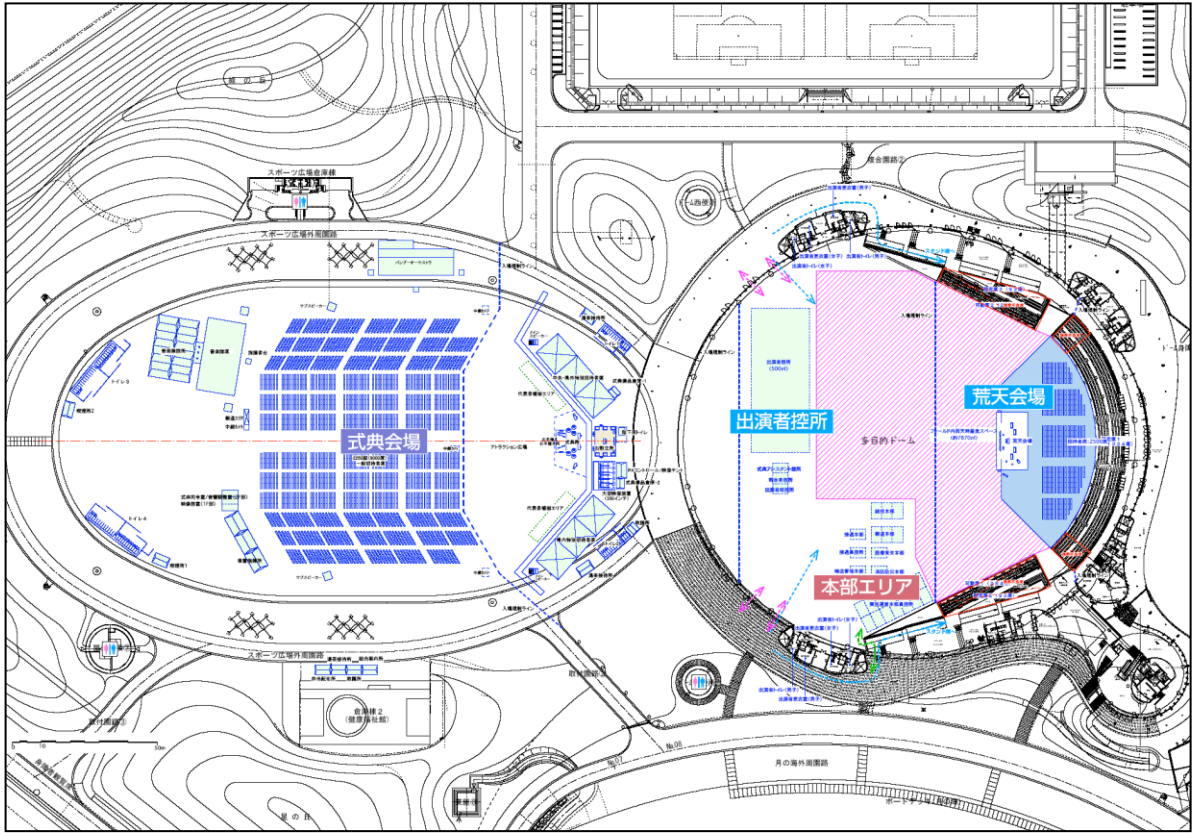
### (1) 会場周辺状況





(2) 式典会場

① 施設配置図



② イメージ図





(3) 植樹会場

【開催時イメージ】



【将来イメージ】



### 3. 主要施設計画

#### (1) お野立所

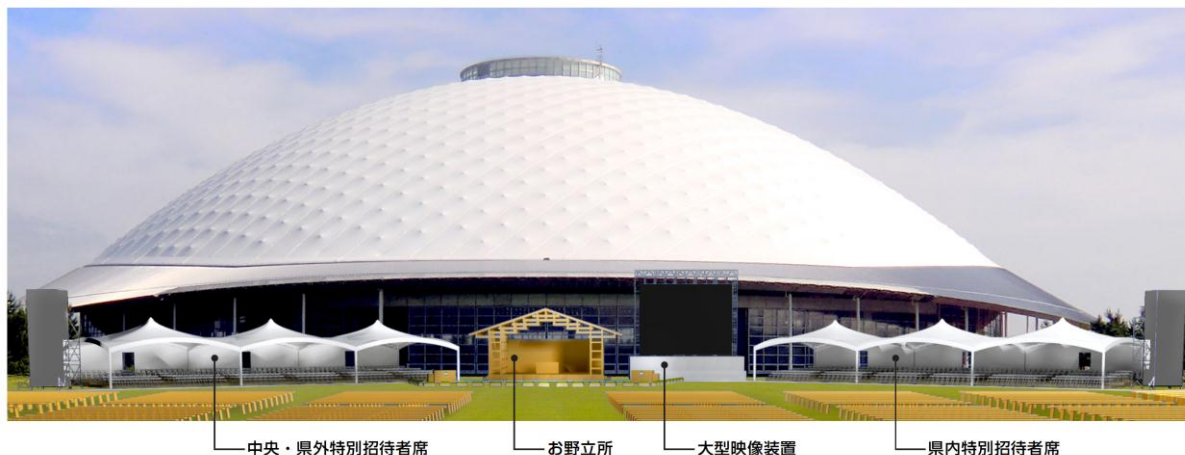
- 式典会場が海浜部に位置することから、お野立所は、強風時にも十分な安全が確保できるものとします。
- 一般住宅用寸法の優良県産木材を使用することにより、「やまぐち木の家」の取り組みをアピールします。
- 錦帯橋の精巧な木組みの構造をモチーフとし、水平材と垂直材にこだわった伝統的な構造・意匠により木造建築の良さを最大限に表現します。
- 全国植樹祭開催後には、県産木材を使用したシンボリックな建築物として県民に親しんでいただくため、都市公園内に移設します。そのため、解体・再構築における施工性と経済性に配慮した構造とします。



#### (2) 特別招待者席

- 特別招待者席には大型テントを設置します。

立面展開図



#### (3) 一般招待者席

- 一般招待者席は県産木材を使用した木製ベンチを設置します。



## 4. サイン計画

- 参加者が安全かつスムーズに式典や植樹行事に参加することができ、植樹会場など各施設等への移動に支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- サインの設置にあたっては、ユニバーサルデザインに留意し、参加者が見やすい色彩や大きさのサインにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。

## 5. 電気・給排水・通信設備計画

### (1)電気設備計画

- 会場内で使用する電源は、商用電源を引き込む他、仮設電源（ジェネレーター等）で対応します。
- 仮設電源供給部分には、仮設受電設備もしくは発電機等を配置し、配電します。
- 映像、音響等に関する部分については電源車または発電機で配電します。なお、故障等の事態に備え、予備電源を用意してバックアップを行います。
- 発電機から各電源供給エリアへの配線は地上ころがし配線を基本とします。なお、人及び車両等の主動線部分については埋設配管及び養生材による保護を行います。

### (2)通信設備計画

- 運営を円滑に行うため、各会場の実施本部等に臨時電話を設置するほか、携帯電話、トランシーバーなどの無線通信機を適正に配置します。

### (3)給排水計画

- 水は外部から給水することとし、排水は回収して外部にて適正に処理します。

### (4)仮設トイレ設置計画

- 式典会場や植樹会場、イベント広場などに必要に応じて適正な数量を設置します。また、衛生面にも十分配慮します。

## 6. 飾花計画

- 飾花は、県内産の花を使用し、会場内等の雰囲気を引き立てるとともに、参加者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう配置します。
- 式典会場などに設置するプランターの木製品については、間伐材などの県産木材の使用に努めます。



# 第6章 運営計画

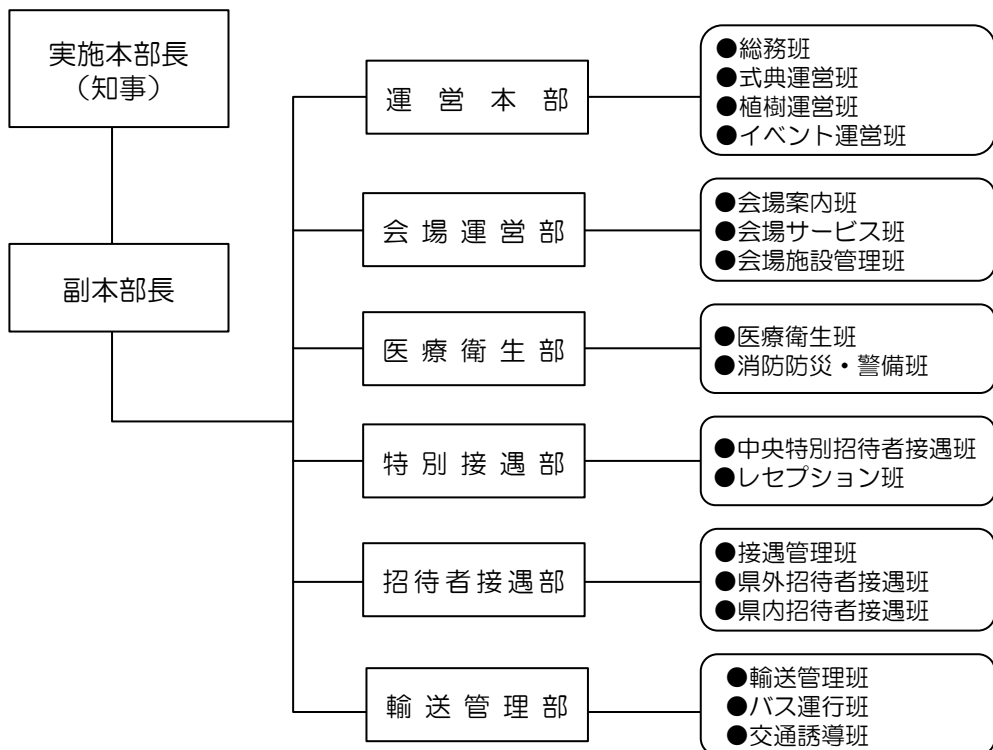
## 1. 基本的な考え方

- 全国からの参加者をおもてなしの心でお迎えし、大会の開催理念やテーマ、本県の良さを会場全体で表現し、アピールします。
- 参加者の安心・安全を確保し、快適に過ごせるよう会場運営を行います。
- 市町、関係団体、ボランティア等と密接な連携を図り、多くの県民との協働による円滑な大会運営を行います。

## 2. 実施本部計画

- 全国植樹祭の実施に向けて「第63回全国植樹祭山口県実施本部」を平成23年11月に設置しました。
- 県知事を本部長とし、県職員のほか、ボランティア、開催市職員などの積極的な協力を得て、効率的な要員配置を行い、実施運営の円滑化及び参加者の安全性や快適性の確保に努めます。

### ●実施本部組織図



## 3. 招待計画

- 式典の参加者は、「県外招待者」、「県内招待者」に区分します。
- 「県外招待者」は、公益社団法人国土緑化推進機構理事長と山口県実行委員会会長との協議により定める者及び各都道府県知事の推薦による者となります。
- 「県内招待者」は、山口県実行委員会会長の推薦による者、県内市町長の推薦による者及び公募により選定する者となります。

招待者区分		人数	
中央特別招待者	国務大臣、(公社)国土緑化推進機構会長、林野庁長官、山口県知事、山口県議会議長、鳥取県知事、山口市長等	20人	
特別招待者	県外特別招待者	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、都道府県知事及び議会議長等	480人
	県内特別招待者	県議會議員、市町長、市町議会議長、緑化功労者、県実行委員会委員等	1,000人
	小計		1,500人
一般招待者	県外一般招待者	各都道府県森林・林業関係者等	1,000人
	県内一般招待者	県内の森林・林業関係者、県内公募による一般県民等	7,500人
	小計		8,500人
合計		10,000人	

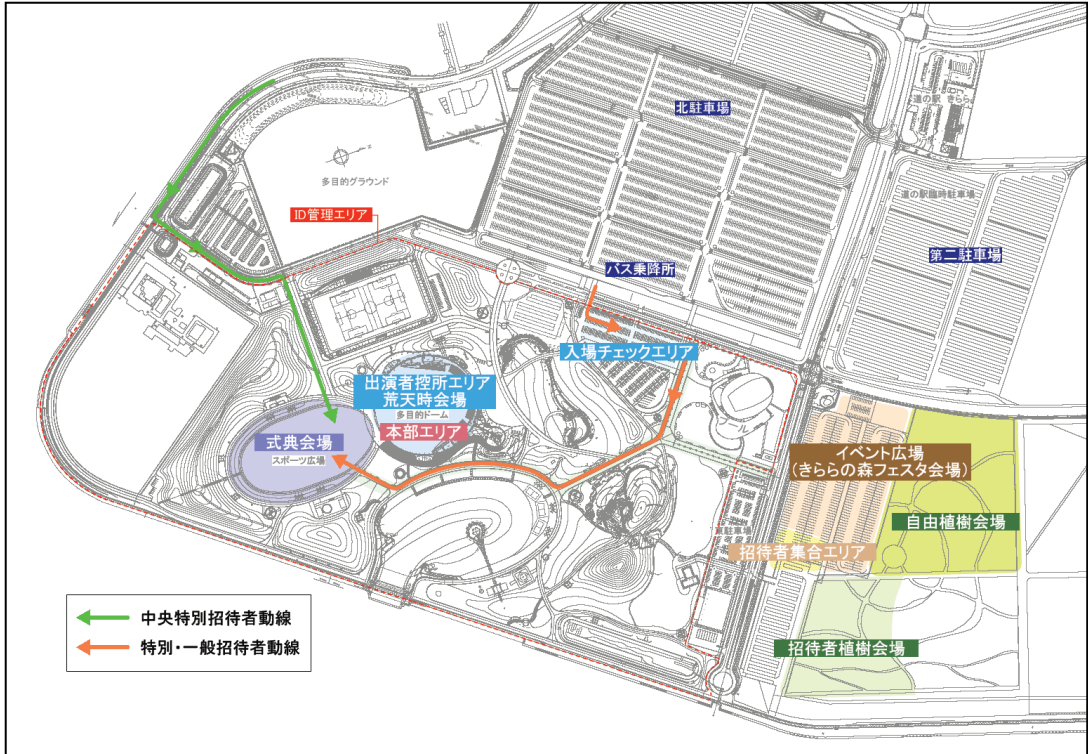
4. 参加者行動計画

●参加者行動表(植樹祭当日)

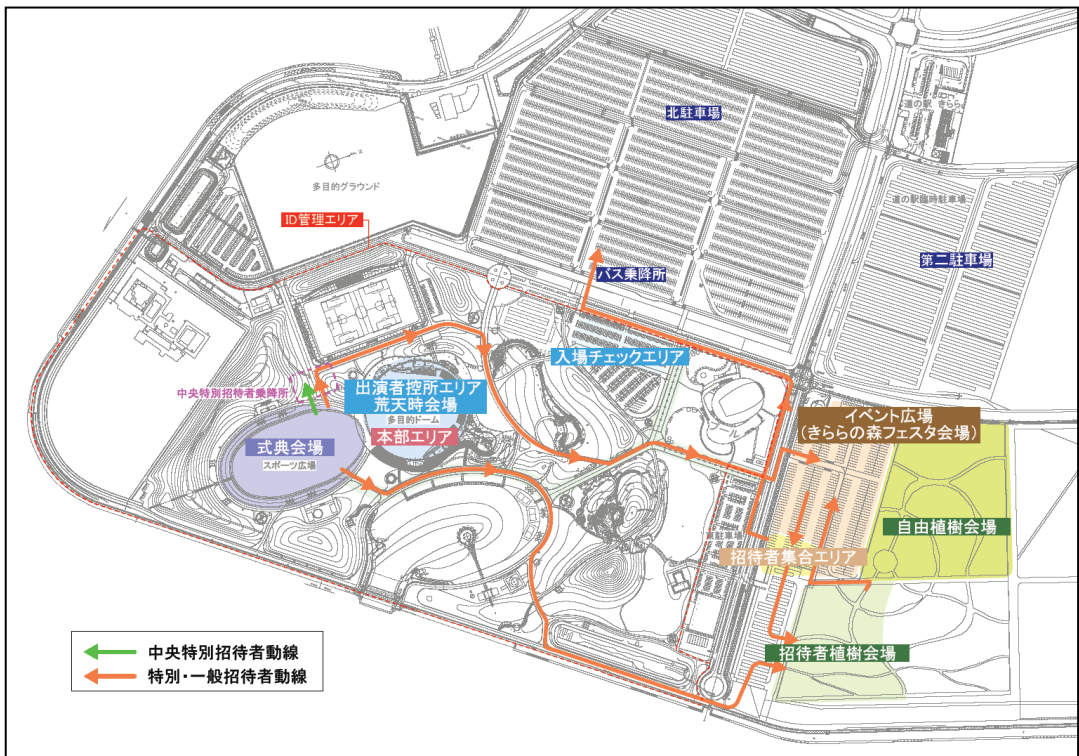
時間	両陛下	県外招待者			県内招待者		実施本部員等				自由植樹・関連イベント参加者 (自由参加)	
		中央特別招待者	特別	一般	特別	一般	実施本部員		協力員	出演者		
		(20人)	(480人)	(1,000人)	(1,000人)	(7,500人)	県外招待者対応関係者	その他業務員	(3,000人)			
6:00							自宅 自家用車	自宅 自家用車	自宅 自家用車	自宅 自家用車		
7:00				自宅 自家用車	自宅 自家用車		自宅 自家用車	指定集合地等	自宅 自家用車	指定集合地 バス		
8:00			バス輸送(宿舍・指定集合地~乗降場) ※距離に依り、必要な時間は異なる									
9:00		宿舍 ハイヤー SVP乗降場 受付	植樹 入場チェック		入場チェック					実施本部業務等 (各配置場所)	出演業務	自宅 自家用車等 会場駐車場
10:00		10:13 首席	10:00 首席	10:00 首席	10:00 首席	10:00 首席						
11:00	記念式典 お手備え お手置き		プロローグ									
12:00			記念式典									
13:00		12:00 庭席 SVP 乗降場 ハイヤー	エピローグ									
14:00		昼食会 ハイヤー	昼食								昼食	植樹 イベント 広場 ※植樹は3日前 から 関連イベントは 前日から実施
15:00		ハイヤー 空港・駅	イベント広場	植樹 イベント広場			バス ※遠方者から順次輸送	バス ※遠方者から順次輸送			バス乗降場 バス 指定集合地 自家用車	
16:00			バス ※遠方者から順次輸送 空港・新山口駅				バス ※遠方者から順次輸送				会場駐車場 自家用車等	
17:00							指定集合地等 自家用車	指定集合地等 自家用車	会場駐車場 バス乗降場	バス 指定集合地 自家用車	自宅	

5. 会場内動線計画

(1) 招待者の動線(会場到着から式典会場まで)

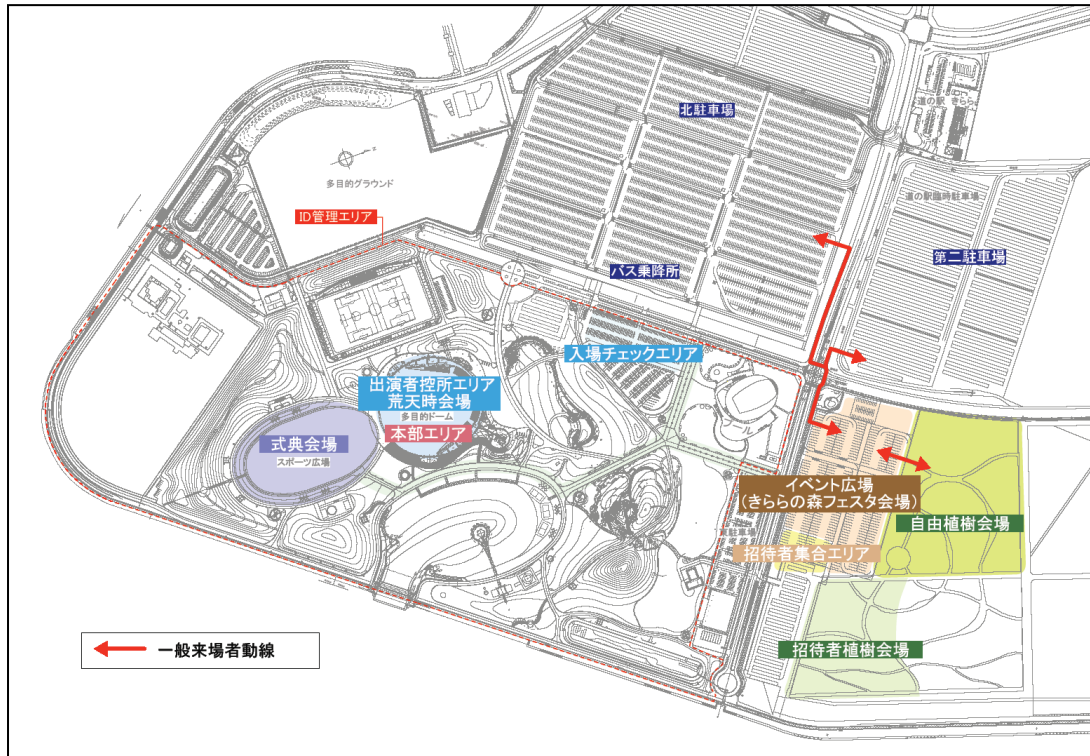


(2) 招待者の動線(式典会場から出発まで)





## (3)自由植樹・関連イベント参加者(自由参加)の動線



## 6. 招待者受付計画

- 前日に宿泊する招待者は、宿泊施設到着時と当日バス乗車時の2回受付を行います。
- 宿泊しない招待者は、当日バス乗車時に受付を行います。
- 式典会場入場時、入場チェックを行います。
- 開催理念やテーマ、本県独自の森林づくりの取り組みを全国に情報発信できるような、記念品等を配布します。

## 7. 作品御覧・レセプション計画

### (1) 作品御覧

- 緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第63回全国植樹祭ポスター原画作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

- ・主催 公益社団法人国土緑化推進機構 山口県
- ・開催日 平成24年5月26日（土曜日）
- ・招待者 緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者（6名）  
第63回全国植樹祭ポスター原画作者（1名）

### (2) レセプション

- 天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第63回全国植樹祭の開催県として、参加者の来訪を歓迎し懇親を深める場とします。

- ・主催 山口県
- ・開催日 平成24年5月26日（土曜日）
- ・出席者 400名程度  
天皇皇后両陛下（宮内庁関係者を含む）  
中央特別招待者（（公社）国土緑化推進機構会長、国務大臣、鳥取県知事及び県議会議長等）  
県外特別招待者（県選出国会議員、中央団体の長、中央省庁関係者等）  
県内特別招待者（県議会議員、市町長、市町議会議長、実行委員会委員等）  
中央表彰者（緑化功労者等）

## 8. 昼食計画(式典参加者)

- 食事は、県産食材をいんだんに盛り込み、山口らしさを堪能できるように工夫します。
- 昼食及び会場区分

招待者区分	場所	形態	時間
中央特別招待者	昼食会場	昼食会	
特別招待者	式典会場	弁当	12:30～ (エピローグ終了後)
一般招待者			
出演者等	出演者控え所等		随時
実施本部員	本部等		
協力員	各控え所等		

## 9. 医療・衛生計画

### (1) 医療救護所の設置

- 式典会場及び植樹会場等に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。
- 救護所には、医師や看護師を配置するとともに、医薬品やAED（自動体外式除細動器）、休憩用ベッド等を整えます。
- 消防機関や近隣の医療機関の協力を得て、緊急の場合の搬送・受け入れ体制を整えます。

### (2) 衛生対策

- 食品衛生や環境衛生について、関係機関との協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- 食の安全を期すため、弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供施設の指導を徹底します。
- 飲食物等の廃棄物の適切な処理を行い、式典会場及び周辺的环境美化に努めます。

## 10. 消防・防災、警備計画

### (1) 消防・防災

- 地元消防本部の協力を得て、式典会場に消防車・救急車を配備します。
- 喫煙所以外はすべて禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- 式典会場内及びイベント広場の火気使用についても管理を徹底します。
- 地震等の災害対策として、山口県防災危機管理課との災害情報連絡体制の構築により、災害発生情報、被害情報等を正確、迅速に把握し、参加者の安全を最優先に対応します。
- 情報の伝達は、混乱を生じさせないように、参加者に対するルートと実施本部員・協力員等のルートに分けて適切に行い、参加者全員が安全に避難できる体制を整えます。
- 避難については、避難計画を策定し、実施本部員への周知徹底を図るとともに、避難訓練を行い、非常時に備えます。

### (2) 警備

- 会場内での事件事故を防止し、全国植樹祭の円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- 当日は、警備員や実施本部員を配置して、警備や車両の整理、参加者の誘導を行います。
- 式典会場入場ゲートでは、金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を行います。
- 式典会場及び植樹会場等では、使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

# 第7章 宿泊・輸送等計画

## 1. 基本的な考え方

- 宿泊施設の収容人員、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制等を総合的に勘案し、山口県の温かいおもてなしの心をもって、無理のない安心・安全な宿泊・輸送体制を整えます。
- 安全で円滑な輸送を行うため、運行ルート、輸送スケジュール及び適切な交通の確保により、参加者が快適に移動できる体制を整えます。
- 県外招待者に対し、式典終了後の視察ルートを設定し、山口県の自然や歴史、文化などの魅力を体感していただきます。

## 2. 宿泊計画

招待者の宿泊施設は、交通の利便性や快適性等を考慮し、実行委員会が紹介します。

### (1) 宿泊施設の選定

- 宿泊施設は、接客サービス及び館内施設が充実している旅館やホテル等から選定します。
- 宿泊料金は招待者の負担とします。
- 食事メニューについては、地元食材を積極的に使用するよう、地産・地消の推進について宿泊施設と協議します。

### (2) 宿泊候補地

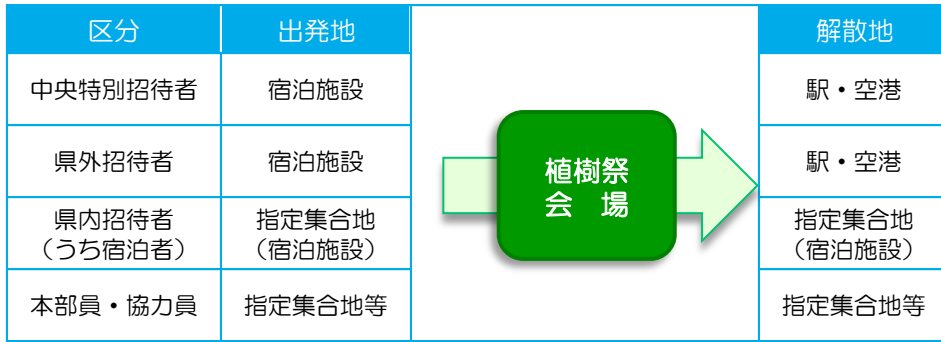
- 主要交通拠点や式典会場までの移動時間を考慮し、招待者がまとまって収容できる施設を有する候補地として、山口市や宇部市を中心に選定します。

## 3. 輸送計画

- 式典参加者の輸送は、バスによる輸送を基本とし、関係機関の協力を得て、安心・安全、快適で円滑な輸送計画を作成し、実施します。
- 必要な輸送機材の確保は、県内のバス会社、タクシー会社の協力を得て手配します。



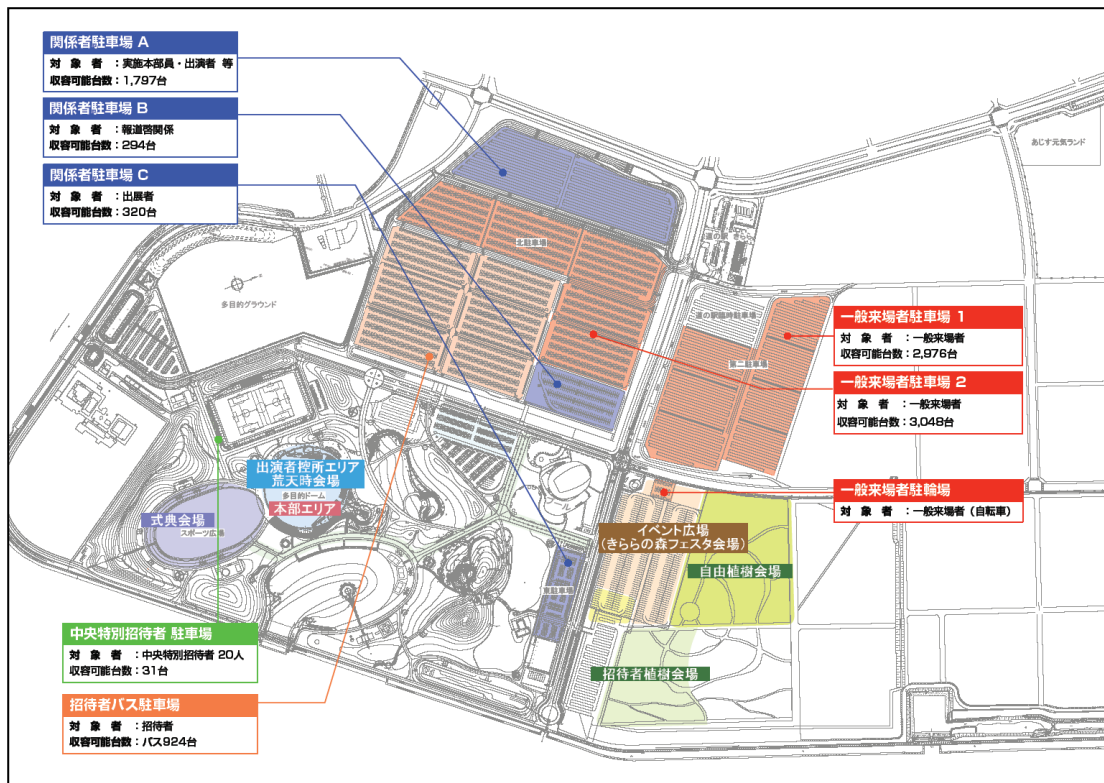
(1) 式典参加者輸送フロー



(2) 式典参加者輸送ルート



(3) 駐車場配置図



4. 視察計画

- 県外招待者を対象として、山口県の豊かな自然、観光名所、歴史、文化等を紹介できるような視察コースを設定します。
- 視察箇所の選定にあたっては、「やまぐち」の森林を中心にした自然または「おいでませ！山口イヤー観光交流キャンペーン」と連動した施設や見学箇所をできる限り取り入れることとします。

# 第8章 荒天時式典計画

## 1. 基本的な考え方

- 暴風雨、集中豪雨等の荒天に見舞われ、晴天会場での式典実施が困難になった場合は、荒天会場での式典を実施します。
- 荒天会場での式典の開催決定は、実施期日の1週間前から随時情報収集や関係機関との協議を実施し、その判断を行うものとしします。
- 荒天会場での実施決定に備え、関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な実施運営を行います。

## 2. 荒天会場

山口きらら博記念公園 多目的ドーム  
(山口市阿知須きらら浜)



## 3. 参加者一覧

- 荒天時式典の参加者は、県外招待者約1,500人、県内招待者約1,000人、実施本部員等約500人の計3,000人程度とします。

区分	内訳	人数
中央特別招待者	国務大臣、知事、次期開催県知事、開催市長等	20人
県外特別招待者	県選出国會議員、中央省庁・団体関係者等	480人
県外一般招待者	各都道府県森林・林業関係者等	1,000人
県内特別招待者	県議會議員、市町長、県実行委員会委員等	1,000人
本部員・協力員	実施本部員、協力員	500人
合計		3,000人



## 4. 荒天時運営計画

## (1) 式典計画

- 晴天会場の式典次第から「プロローグ」「エピローグ」部分、記念式典のアトラクション及び招待者代表記念植樹を除いた構成とします。
- 式典音楽は、事前収録した音源やCD等を使用します。
- 式典の時間は、50分程度とします。

## (2) 式典プログラム

時間	プログラム	登壇者
10:50	記念式典案内	
11:00 ～ 11:45	4' 天皇后両陛下 御徒歩・御着席	御先導：山口県知事 お出迎え：大会会長（衆議院議長） （公社）国土緑化推進機構理事長
	1' 開会のことば	（公社）国土緑化推進機構副理事長
	2' 国歌斉唱	
	7' 主催者あいさつ	大会会長、山口県知事
	6' 表彰 ○国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール ○緑化功労 ○全日本学校関係緑化コンクール ○山口県緑化功労他	大会会長 農林水産大臣 文部科学大臣 山口県知事 受賞者代表
	2' 苗木の贈呈	贈呈：緑の少年隊 受贈：農林水産大臣、環境大臣
	11' 天皇后両陛下 お手植え・お手播き	御先導：（公社）国土緑化推進機構理事長、山口県知事 介添え：緑の少年隊
	2' 大会宣言	（公社）国土緑化推進機構理事長
	4' リレーセレモニー	山口県知事、鳥取県知事
	2' 閉会のことば	山口県議会議長
4' 天皇后両陛下 御退席・御徒歩	御先導：山口県知事 お見送り：大会会長、（公社）国土緑化推進機構理事長	
11:50	終了	

# 第9章 県民参加・集客計画

## 1. 基本的な考え方

- 第63回全国植樹祭の開催効果を最大限に発揮するため、開催準備段階を含め、県内外の多くの方が参加できる仕組みをつくり、参加の促進を図ります。また、開催時の参加者2万人以上を目標として、積極的に集客を推進します。
- 多くの方の参加を実現する中で、森林づくりや緑化活動への気運の醸成と参加の機会を拡大することにより、県内各地での県民参加による植樹活動や森林づくりの促進など、本県における緑化活動の新たな展開につなげていきます。
- 集客に向けた広報活動において、全国植樹祭や山口県の情報発信し、開催気運の高揚や参加の促進とともに、本県のイメージアップも図っていきます。

## 2. 県民参加の進め方

### (1) 準備段階の参加

開催気運の醸成や参加の促進、これからの緑化活動への理解と具体的な行動につなげるため、開催準備段階からの県民参加を、広報やイベントなどを活用し、進めます。

### (2) 開催時の参加

次の参加者数や開催期間の設定により、県内外からできるだけ多くの方が参加できる仕組みをつくります。

#### ①参加者数

植樹行事は会場特性を活かして、自由に参加できるようにし、2万人以上の参加を見込んでいます。

#### ②開催期間

全国植樹祭当日の式典、植樹行事のほか、連携行事として3日前から自由植樹期間を設定するとともに、関連イベントを2日間開催し、多くの方の参加を促します。

## 3. 集客の進め方

次のとおり開催準備期間に応じた、効果的で効率的な広報活動の展開や、「みどりのホームステイ」など、参加につながるイベント事業の展開などにより、集客を推進します。

段階	広報活動の展開の方向性
周知期間	開催テーマ、時期、場所などの基本的事項を中心とした広報活動の展開
理解期間 (平成22年秋～)	本県の全国植樹祭の内容の理解を図るとともに、準備段階から参加につながる広報活動の展開
参加期間 (平成23年秋～)	参加者の公募活動とも連携しながら、来場に結びつく広報活動の展開

# 第10章 プレイベント事業等計画

## 1. 基本的な考え方

- プレイベントの展開により、本県で開催する全国植樹祭の特徴を県民へPRし、開催気運を高めるとともに、広く参加を呼びかけます。
- 開催準備段階から県民が参加できる仕組みや全国植樹祭への参加につながる取り組みを、プレイベントにより展開し、多くの県民参加を促進します。
- 全国植樹祭の開催を記念し、その成果を将来に伝えていくための記念事業を実施します。

## 2. プレイベント事業の内容

- プレ全国植樹祭
- 子ども森林教室
- みどりのホームステイ
- カウントダウンセレモニー



プレ全国植樹祭



子ども森林教室



みどりのホームステイ



カウントダウンセレモニー

## 3. 記念事業の内容

- 全国植樹祭の記録誌発行、記録映像作成
- 記念碑の建立

## 4. 関連事業の内容

- 第41回全国林業後継者大会
  - ・時期：平成24年5月26日（土曜日）（第63回全国植樹祭開催日の前日）
  - ・場所：山口市内
  - ・内容：活動発表、パネルディスカッションなど



# 第11章 広報計画

## 1. 基本的な考え方

広報活動を通じ、大会の開催を広くPRし、開催への気運を醸成するとともに、県民参加・集客計画と連携しながら広報活動を実施します。

## 2. 広報展開

広報活動の展開にあたっては、開催までの期間を次のとおり区分し、各市町、関係団体などと連携を図りながら、様々な広報媒体を活用した取り組みを推進します。

### (1) 周知期間

シンボルマーク、愛称、ポスター原画などの公募やホームページの開設などによる県内外への周知



シンボルマーク



ホームページ

### (2) 理解期間

公式ポスターやシンボルマーク「やまりん」などを活用したPR活動、定期広報誌の発行



大会ポスター



広報誌「きららの森林」

### (3) 参加期間

各種メディアの積極的な活用や、開催までの節目イベントの実施による来場に結びつく広報活動の展開

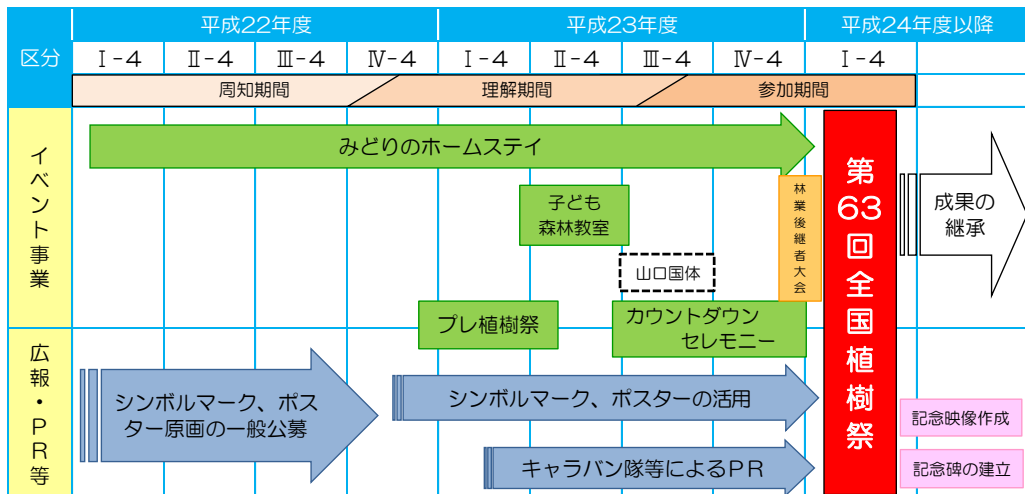


インフォメーションボード



木製広告看板（県庁前）

[実施事業の展開]





大会ポスター原画 画題「新しい命」

**第63回全国植樹祭 実施計画【概要版】**

平成 24年 2月

**山口県農林水産部全国植樹祭推進室**

〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号

TEL 083-933-4980 FAX 083-933-4989

ホームページ <http://63syokuju.pref.yamaguchi.lg.jp/syokuju/index.html>

または、「第63回全国植樹祭やまぐち2012」で検索してください。